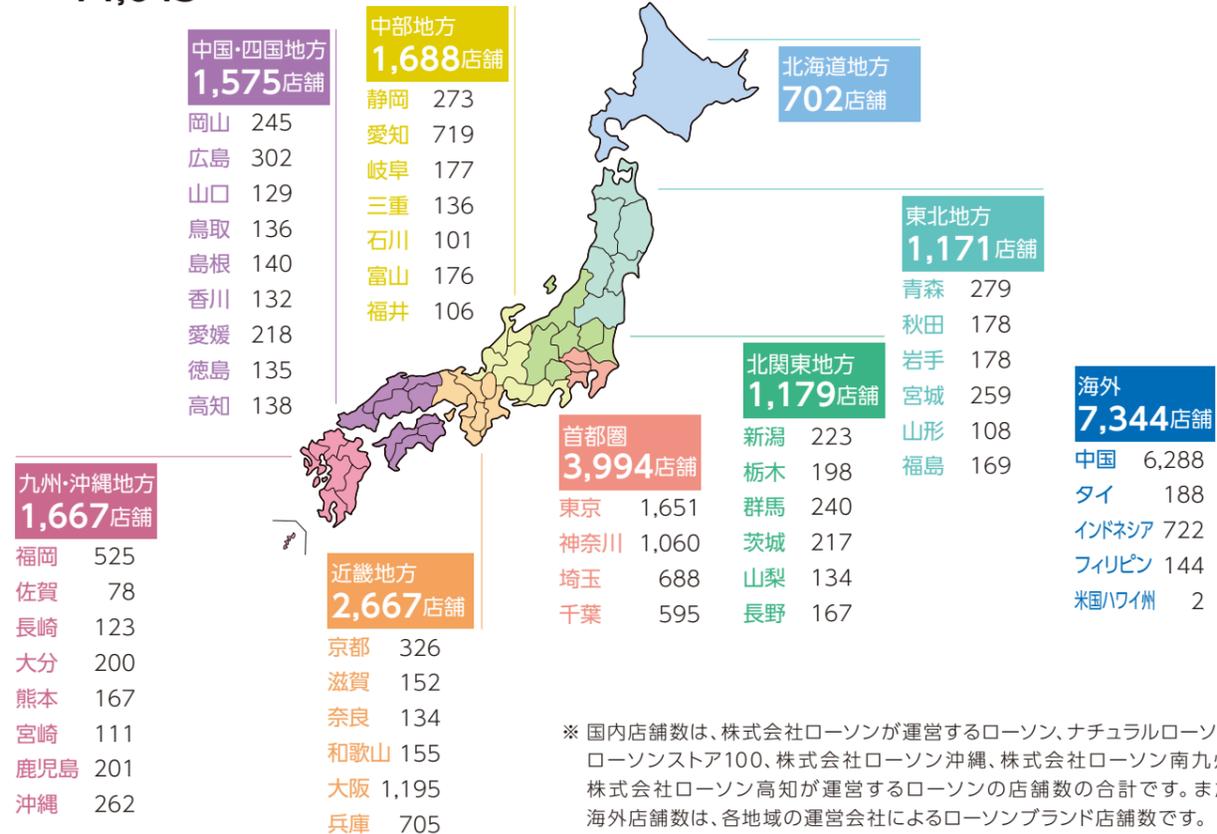


国内店舗数 14,643店舗



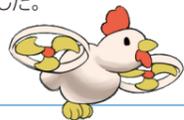
* 国内店舗数は、株式会社ローソンが運営するローソン、ナチュラルローソン、ローソンストア100、株式会社ローソン沖縄、株式会社ローソン南九州、株式会社ローソン高知が運営するローソンの店舗数の合計です。また、海外店舗数は、各地域の運営会社によるローソンブランド店舗数です。

会社概要 2024年2月末時点

社名	株式会社ローソン	資本金	585億664万4千円
所在地	東京都品川区大崎一丁目11番2号 ゲートシティ大崎 イーストタワー	社員数	11,666人(連結)
代表者	代表取締役 社長 竹増 貞信	事業内容	コンビニエンスストア「ローソン」の フランチャイズチェーン展開
設立	1975年4月15日	全店舗売上高	2兆7,509億円(連結)



表紙について
 本冊子の表紙は福祉施設PICFA(ピクファ)に在籍する障がいのあるアーティストに描いていただきました。
 「"Tech"を通じた未来のローソン」をテーマとし、さまざまなデジタルサービスを取り入れながら、
 人、そして地域の温かみを感じられるデザインとなっています。



株式会社ローソン

SDGs推進室
 〒141-8643
 東京都品川区大崎一丁目11番2号
 ゲートシティ大崎 イーストタワー
<https://www.lawson.co.jp/>

2024年8月発行 次回発行2025年8月予定
 © 1975-2024 Lawson, Inc. All rights reserved.



「SDGs ハンドブック 2024」に関する
 感想をお待ちしています!

こちらから
 アンケートにご協力ください▶



【グループ理念】

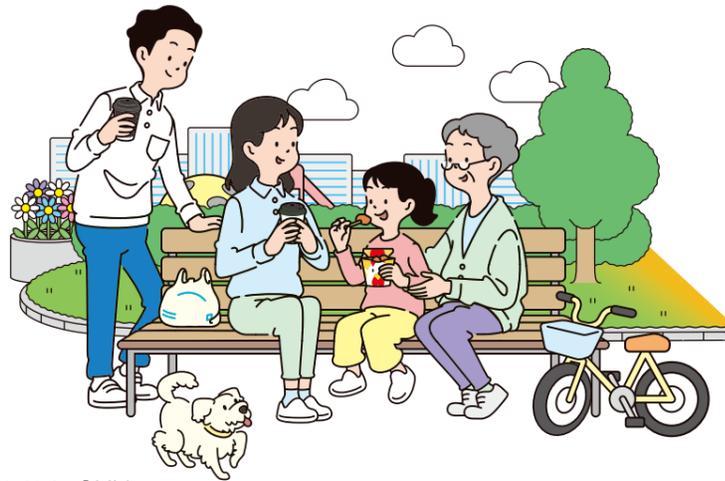
私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。

【ビジョン】

目指すは、マチの“ほっと”ステーション。

【ローソンWAY】

1. マチ一番の笑顔あふれるお店をつくろう。
2. アイデアを声に出して、行動しよう。
3. チャレンジを、楽しもう。
4. 仲間を想い、ひとつになろう。
5. 誠実でいよう。



国連グローバル・コンパクトへの署名

ローソンは、2022年5月に「国連グローバル・コンパクト」に署名しました。「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」からなる4分野10原則を支持・実践することで、持続可能な社会の発展に貢献していきます。

ローソンのグループ理念のもと、お客さま、マチ、地球のために何が出来るかを真剣に考え、環境や社会における中長期課題の解決に積極的にチャレンジしていきます。

Contents (目次)

- P1 環境ビジョン「Lawson Blue Challenge 2050！」
- P2 Top Message
- P3 聞いてください！私のSDGsアクション
- P4-P5 マンガで学ぶ！LAWSONのSDGs
- P6-P7 ローソンの重点課題(マテリアリティ)
- P8-P9 【特集】Techを通じたサービス
- P10-P13 2023年度 加盟店SDGs表彰 受賞店舗の取り組み
- P14-P15 圧倒的な美味しさ
いつもの商品・サービスに あっと驚くような発見を
- P16-P17 人への優しさ
お客さまも、働いている人も うれしくなる場所を目指して
- P18-P19 地球(マチ)への優しさ
地球(マチ)と共生する 新時代のお店づくりを
- P20-P21 グループ会社の取り組み



環境ビジョン

「Lawson Blue Challenge 2050！」

～ “青い地球”を維持するために！～

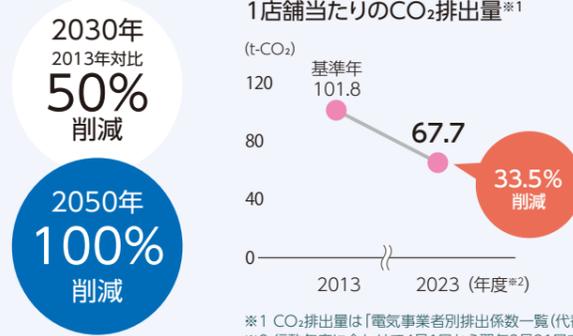
2050年の目標の達成に向けてチャレンジ中！

SDGsの目標年である2030年をターゲットに、社会・環境面に関わる目標(KPI)を策定し、達成に向けて取り組んでいます。

さらに脱炭素社会を2050年に実現し、青く豊かな地球環境を未来につなげるために、環境ビジョン「Lawson Blue Challenge 2050！」を策定、長期的なゴールを目指してチャレンジを続けています。



CO₂排出量削減目標



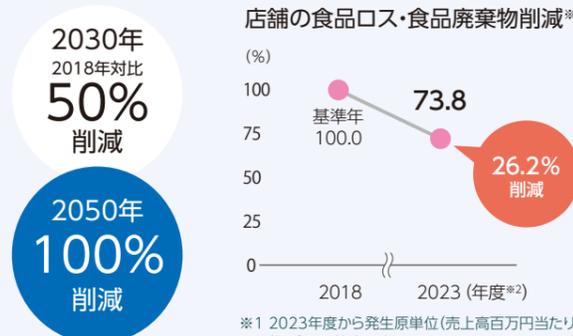
店舗の廃食油から製造したバイオディーゼル燃料を配送車で使用

熊本県内のローソン店舗の廃食油をリサイクルして製造したバイオディーゼル燃料を、ローソン店舗向け配送トラック(1台)で使用する、地産地消型リサイクルの実証実験を熊本県内の約10店舗を対象に開始しました。



例えば、こんなことに取り組んでいます！

食品ロス削減目標



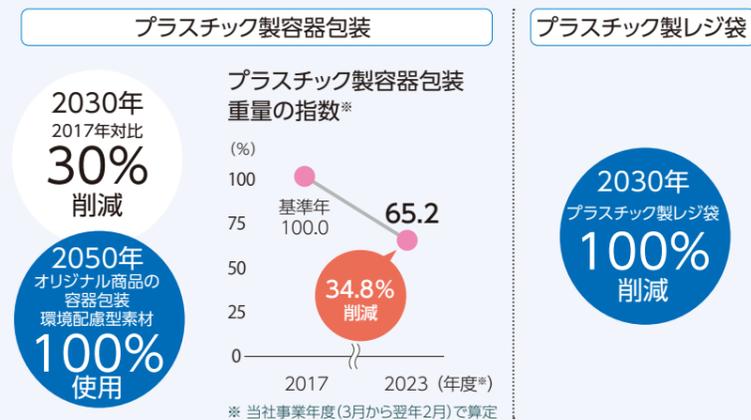
てまえどり

商品棚の“手前”にある商品から順番に“取り”購入いただく「てまえどり」を推進。お客さまにご協力いただきながら、食品ロス削減を進めています。



例えば、こんなことに取り組んでいます！

プラスチック使用量削減目標



ペットボトルを100%リサイクル素材に変更

2023年11月より順次オリジナルペットボトル飲料の計8品のペットボトルを100%リサイクル素材に切り替えました。

※詳細はP18で紹介



例えば、こんなことに取り組んでいます！

Top Message



代表取締役 社長兼 CSO*
竹増 貞信

いよいよ始まる、次の50年。

リアルとテクノロジーを融合し、

「マチの“ほっと”ステーション」の実現に向け加速！

ローソンはグループ理念に「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」を掲げています。国連が定めたSDGs (Sustainable Development Goals) は、マチを幸せにするというローソングループの理念・ビジョンと同じ方向性を示すものであり、これまで積み重ねてきた取り組みをさらに前進させるものと認識しています。

コロナ禍において、ローソンは「みんなの役に立ちたいチャレンジャー」として、そして地域社会のエッセンシャルワーカーとしての責任を果たすため、厳しい状況でも営業活動を続けてまいりました。一方で、目まぐるしく変化する社会情勢の中

で、コンビニエンスストアではこれまで以上に「新しい便利」が求められており、これからの時代はテクノロジーを活用して店舗の在り方を変えていかなければ、企業が存続できなくなる可能性があるという課題感をもっています。

既に店舗では、2024年度から次世代発注システム「AI.CO (AI Customized Order)」を導入し、発注・品揃え・値引きの推奨による販売機会ロス及び食品ロス削減の取り組みを進めているほか、デリバリーサービスの品目数や展開エリアを拡大し、さらなる「便利さ」を追求しています。また、このたび三菱商事株式会社・KDDI株式会社・株式会社ローソン3社で

資本業務提携を締結しました。3社の事業基盤を最大限活用することで、人・マチ・社会に新たな価値を提供できると考えています。

ローソンは2025年に創立50周年を迎えます。次の50年に向け、人工知能(AI)予測やロボット、オンラインサービスなどのテクノロジーと、ローソンならではのリアルの店舗を軸とした人と人とのつながりを大切にしたい温かみのある空間を掛け合わせ、圧倒的に支持される次世代のコンビニエンスストア「Global Real × Tech Convenience」の実現に向けチャレンジしてまいります。

*CSO=チーフ・サステナビリティ・オフィサー：最高サステナビリティ責任者

聞いてください! 私のSDGsアクション

全国のローソン店舗で働く店長さん・クルーさんのSDGsに関するアクションを紹介します!

岩手北支店
一戸小島谷店
店長
高間木 明日香さん



お店では、コーヒー豆のカスを乾燥させてトイレに置き、消臭剤として再利用しています。また、消耗品納品時の袋をごみ袋として有効活用するなどプラスチック削減に努めています。自身ではマイボトルを持ち歩いています。

石川支店
金沢藤江北店
クルー
盛田 路子さん



日ごろからマイボトル、マイ箸を持ち歩き、自分のできる環境保護のための取り組みを行い、環境負荷の軽減につながるよう心がけています。お店では「省エネ10か条」の取り組みが浸透しています。

北九州西支店
小嶺インター店
リーダークルー
岡原 龍太郎さん



以前、コロナ禍のニュースで輸血用血液の枯渇を知りました。お店として協力できることはないかと思い、日本赤十字社と協議して、2020年から献血バスに店舗駐車場に来てもらう取り組みを行っています。お客さま、近隣のローソンの皆さまにも協力いただき、この取り組みは今年で4回目の実施となりました!

徳島支店
徳島西大工町二丁目店
クルー
宮本 竜成さん



約5年にわたり、毎週5ヵ所の介護施設に赴き、移動販売を実施しています。外出が難しい方のニーズに応えられるよう日用品などもお持ちしています。今後も地域の皆さまのほっとステーションの実現を目指します。

岐阜西支店
大垣番組町店
移動販売責任者
安藤 玲子さん



オーナーとともに移動販売に携わり、高齢者や障がい者が利用される施設、高校の売店などでお買い物の場を提供しています。今後も地域のお客さまに喜ばれる取り組みを継続していきたいと思っています。

マンガで学ぶ！ LAWSONのSDGs

まちこ
好奇心旺盛な小学3年生の女の子。



オーナー
ローソン一筋15年！地域の人のふれあいを大切にしながら、2店舗を経営している。まちこのお父さん。

お父さん！

学校で先生がカラフルなバッジをつけていたんだけど、えすでーじーずって何？

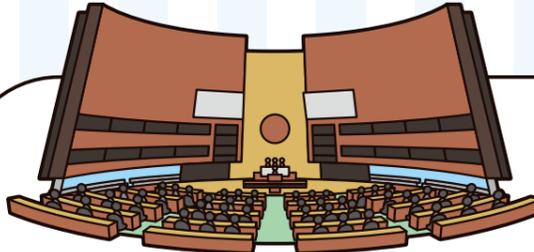


なんか目標が17個もあるって聞いたけど…

まちこの小学校ではSDGsにも力を入れているんだね！

SDGsに積極的に取り組んでいる企業や団体、個人などがバッジをつけているケースが多いね。最近マチでも見かけることが増え、SDGsへの関心が高まっているんだ。

SDGs (持続可能な開発目標) は2015年の国連サミットにおいて全会一致で採択された、この世界で暮らし続けるための目標なんだ！

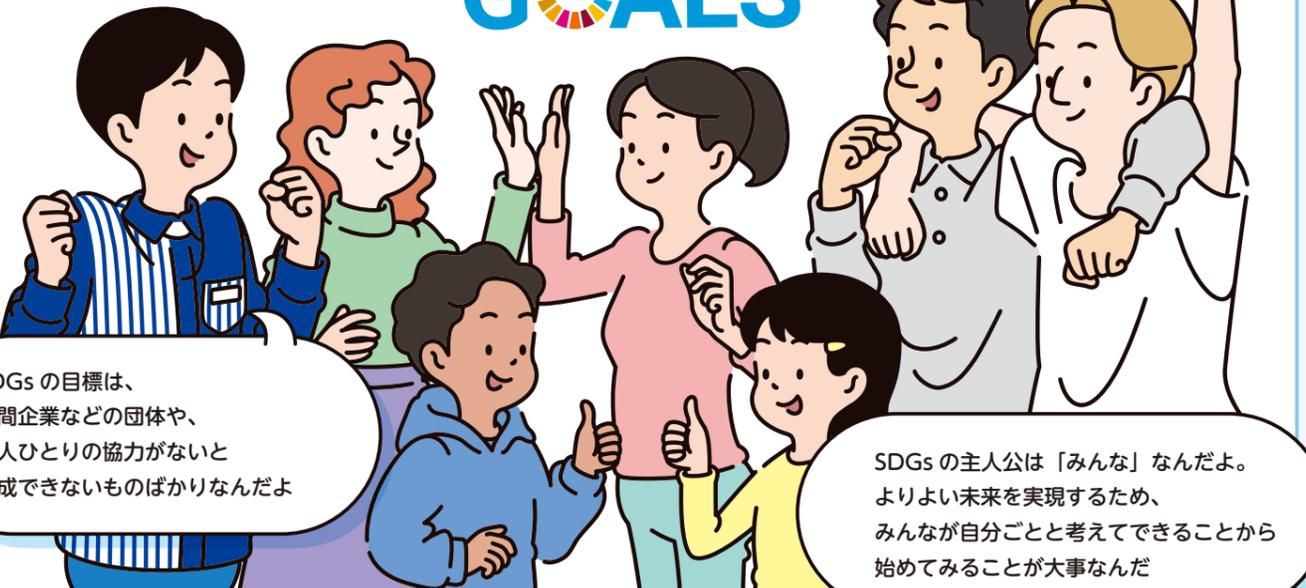


SDGsは17のゴールと169のターゲットから構成され、「地球上の誰一人として取り残さない」を誓っているんだ！



SDGsの目標は、民間企業などの団体や、一人ひとりの協力がなくて達成できないものばかりなんだよ。

SDGsの主人公は「みんな」なんだよ。よりよい未来を実現するため、みんなが自分ごとと考えてできることから始めてみるのが大事なんだ。



お父さんのお店ではどんなSDGsの取り組みをしているの？

例えば、要冷ケースに扉をつけることで冷気を外に逃がさないようにして冷蔵効率をアップさせているよ。これは省エネ効果があるんだ。
※一部店舗で実施

他にも、店舗で出た廃油をリサイクルしてバイオディーゼル燃料や石けんなどに再生しているんだ！

すごい！たくさんの取り組みがあるんだね！

使用済みの油が違うものに生まれ変わるなんて、ごみも減らせようだし環境にもよさそう！

まちこは気づいてた？

へえ、知らないことばかりだー

よし、じゃあ一緒に見てみよう！

ローソンのSDGsの取り組みもっと知りたいな！

それだけじゃないよ。

普段ローソンでもらっているお弁当用のスプーンや、フォーク

実は持ち手部分に穴を開けたり、長さを短くしたりするなど、プラスチック使用量を削減したものを導入しているんだ。

Let's take a look at Lawson's SDGs initiatives >>>





ローソンの重点課題 (マテリアリティ)

事業方針「3つの約束」をもとに、環境・社会・経済に対する影響が大きい課題を「重点課題」として選定しています。「重点課題」への対応を進めることでマチの“ほっと”ステーションの実現を目指し、SDGsの達成に貢献していきます。

ビジョン
目指すは、マチの“ほっと”ステーション。

圧倒的な美味しさ **重点課題**

1 安全・安心と社会・環境に配慮した 圧倒的な高付加価値商品・サービスの提供

2 品質をゼロに 9 農業と陸域資源の持続をにつなぐ 12 つくる責任 つかう責任



商品・サービスに あっと驚くような発見



約束①
圧倒的な 美味しさ

グループ理念
私たちは “みんなと暮らすマチ” を 幸せにします。

3つの約束を 相互に連携させて ビジョン達成を目指す



約束②
人への 優しさ

約束③
地球(マチ) への優しさ

食品ロスや プラスチック使用量、 CO₂排出量の削減



キレイなお店づくりと 気持ちのよい接客



人への優しさ **重点課題**

2 商品や店舗を通じて すべての人の健康増進を支援

3 働きやすく、働きがいのある 環境の提供

4 子どもの成長と女性・高齢者の 活躍への支援

2 品質をゼロに 3 すべての人に 健康と福祉を 5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も 1 貧困を なくそう 4 質の高い教育を みんなに 17 パートナリシップで 目標を達成しよう

地球(マチ)への優しさ **重点課題**

5 社会インフラの提供による 地域社会との共生

6 脱炭素社会への持続可能な 環境保全活動

11 住み続けられる まちづくりを 2 品質をゼロに 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう

特集 Tech を通じたサービス

アバター活用で新たな接客と 多様な働き方を実現

デリバリーサービス商品を 短時間でお客さまのもとにお届け

商品をお客さまのご自宅までお届けするラストワンマイルの取り組みとして、2019年8月に日本のコンビニエンスストアとして初めて「Uber Eats」を導入しました。現在は「Wolt(ウォルト)」、「menu(メニュー)」、「出前館」も取り扱い、全国で約5,000店舗*がサービスを導入しています。からあげクンなどのフライドフーズ、牛乳などの生活必需品が好評で、一部店舗ではOTC医薬品(市販薬)も販売しています。

2024年4月10日からは店舗の在庫とデリバリーサービスの在庫が連携されるようになり、「Uber Eats」においては取り扱い品目数が約3,000品目に増えました。今後もお客さまのもとに欲しい商品をすぐにお届けできるよう進化を続けていきます。
※2024年2月末時点



ローソンは誰もが制約にとらわれることなく働くことのできる機会の創出と、デジタル技術を活用しながら「新しい便利」と「温かい未来」を実現するため、アバター接客を導入しています。これまでは一人1店舗での勤務が通常のところ、一人が同時に複数店舗で勤務することが可能になり、人手不足の解消にも貢献しています。現在東京、大阪、福岡の3店舗にアバター接客を導入しています。



アバター導入1号店ーグリーンローソンー

2022年11月、食品ロス削減やプラスチック使用量の削減などの環境負荷の軽減や、DX活用など、20を超えるサステナブルな施策を集約したグリーンローソン(北塚一丁目店)で初めてアバターを導入しました。今後もグリーンローソンでは、近未来型店舗の実現に向けさまざまな施策に積極的に取り組んでまいります。

グリーンローソンの主な施策

店内の厨房「まちかど厨房」で、店炊きご飯の弁当などを販売



アバターによる接客で多様な働き方を応援



扉つきの冷蔵・冷凍ケースで電気使用量とCO₂排出量を削減



建物のリユースを実現した1号店：津山高野山西店(岡山県)

2023年11月から、閉店した店舗の屋根・壁・柱などの建物建材を新店に再利用する取り組みをスタートしました。1号店ではこれらの建材を重量ベースで約9割再利用し、該当する建材の製造から建物が完成するまでのCO₂排出量を通常の店舗と比較して約6割削減しました。

この取り組みはローソンと大和リース(株)が共同で開発した、軽量鉄骨を利用したプレハブ工法「DL-e(ディーエルイー)工法」で建設された店舗のうち、要件を満たした店舗が対象で、今後も全国へ拡大していく予定です。



店舗建物のリユースの仕組みを構築

VOICE

建物のリユースは建築業界でも前例がないチャレンジでしたが、ローソンで標準採用しているDL-e工法の「組み立てやすく解体しやすい特性」を活かし、整備や解体の基準とフローを構築しました。建設業界では「スクラップ&ビルド」から、今ある資源を活用するという考え方が徐々に広がってきています。リユースするという新たな建物の選択肢をローソンがつけることができたことをうれしく思っています。このチャレンジを実現できたのは、プロジェクトメンバーの努力はもちろんですが、何よりオーナーさんのご理解があったからこそです。この取り組みがお客さまや店舗で働く皆さんに、モノをより長く大切に使うことを考えてもらうきっかけに少しでもなればうれしいです。



株式会社ローソン 開発本部
店舗建設部
山野 航さん

処理性能・省電力性が向上した 新型 Loppi を導入



使いやすい筐体設計・デザインに刷新した店頭マルチメディア端末「Loppi」を導入。「見やすく」「わかりやすく」「使いやすい」のコンセプトは踏襲しつつ、省電力化を図るとともに、環境配慮素材を使用して「環境にもやさしい」を目指しています。試験展開を経て、2024年9月以降に既存店への全国展開を開始する予定です。また、併せてお試引換券等の受付が集中しても、お客さまをお待たせすることなく安定したサービス提供ができる基盤を構築するため、処理性能を向上させたLoppiセンターシステムを稼働しました。

全国各地で「マチを幸せにする」ための取り組みを行っています！



グループ理念・事業方針「3つの約束」は、SDGsへの貢献であるとともにマチの幸せにつながります。全国各地のお店で取り組んでいる「マチを幸せにする活動」事例を募集し、2023年度も加盟店SDGs表彰を行いました。受賞した10店舗の取り組みをご紹介します。



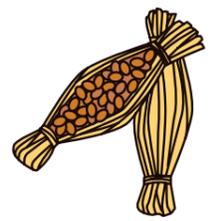
これからも地域のお客さまのために取り組みを継続します

茨城東支店 水戸河和田町報徳店
オーナー 藤波 宏靖さん



「お買い物学習」のサポートを実施

障がい者支援施設に通所する皆さんが、「お買い物学習」のため毎週来店されます。当初はお互いに戸惑っていましたが、半年経つ頃には、我々のサポートがなくてもお買い物ができるように慣れてきて、お客さまも温かく見守ってくださっています。



自分でお買い物ができるとうれしいよね！



街かどケアカフェを開催

東京北支店 練馬北町二丁目店
オーナー 長谷部 龍輔さん



開催日以外でもイートインスペースを有効活用いただいています



練馬区と連携し、高齢者の情報共有・コミュニティの場として、店内のイートインスペースを提供しています。月1〜2回程、地域のシニアの方などに対する「健康づくり」や「詐欺被害防止」などをテーマとしたワークショップを開催し、地域の憩いの場となっています。

ローソンのお店がなくてはならない存在になっているね！



私がローソンで働き続けられるのは地域の皆さんのおかげだと常々感謝しています



愛知西支店 一宮小赤見店
オーナー 近藤 由里さん



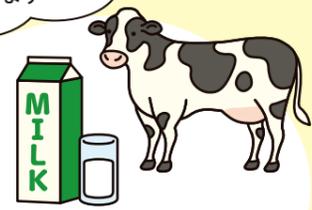
地域の皆さんとの交流の一助に

障がいのある児童が通う放課後デイサービスへ通所する子どもたちのお買い物体験や職場見学、季節のイベントなど、定期的に交流を行っています。ローソンを通じて、地域の皆さんとの交流の一助になればと願っています。



子どもたちも喜ぶね！

中学生ががんばる姿を見ると私たちも元気になります



栃木北支店 黒磯下厚崎店・
那須塩原清住町店・
那須塩原松浦町店・
那須塩原豊浦南店
オーナー 安藤 賢一さん



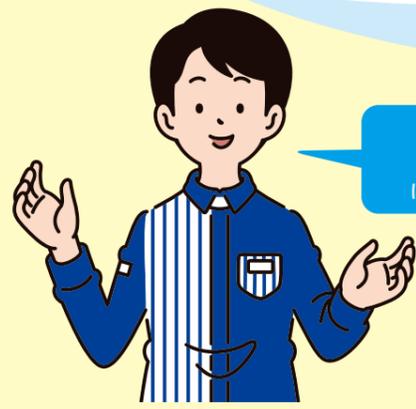
職場体験って楽しそう！

マイチャレンジ事業 (社会体験活動) に協力

地域の子どもの成長の一助となればという想いで、マイチャレンジ事業に協力。学校長からの依頼で近隣中学校の職場体験を受け入れ、お店で働く上での心構えや接客、厨房調理体験などを実施しました。障がい者雇用も継続中です。



それぞれできることから取り組んでいるんだね！ほかのお店も見てみよう！





奈良支店 奈良ドリームランド前店
店長 小松 孝司さん

トイレを定期清掃し、
きれいな状態を常に保っています

6 イベント時のトイレ設置と 清掃活動

近隣の運動公園でイベントが開催されると、終了後に近隣500mくらいの広範囲で清掃を行います。また、イベント時、仮設トイレの設置や、清掃をしっかりとした上で店内トイレを開放しお客さまにご利用いただいています。



マチがキレイだと
気持ちいいね！



気軽に買い物ができる
いい機会になっているんだね！



島根西支店 益田高津店
副店長 多田 邦子さん

11 買い物困難地域での 移動販売を実施

お買い物に困られているお客さまに商品をお届けしたいと思い、介護施設、地域の集会所など週4回ほど移動販売を実施。事前にニーズを把握した上で訪問することで、お客さまの喜びの声を多数いただき、やりがいを感じています。



「いつもありがとう」と
声をかけていただくと、
私達も笑顔になります



お店が近くになくても
安心だね！

買い物に困っている方々の
支援を継続して行っています

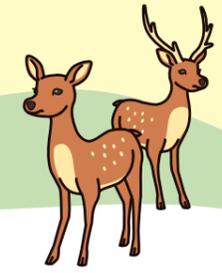
広島中央支店 呉宝町店
オーナー 赤岸 太郎さん

11 移動販売を通じ 地域貢献活動を実施

週3日、移動販売で高齢者施設、デイケアサービス施設を訪問しています。近隣にローソンがない方にも、ローソンの商品を知っていただくよい機会となっており、大変ご好評をいただいています。



感謝されるとうれしいよね！



愛媛西支店 松山道後駅前店
オーナー 吉本 周作さん

4 子どもたちが安心して 過ごせる場所の提供

オーナー自らフリースクールを立ち上げ、何らかの理由で学校に行くことができない子どもたちが安心して過ごせる場所を提供。翌日のスクールに通うために、生活リズムを自ら見直すなど、通所する子どもたちにも変化が見られたと親御さんからのコメントもいただいています。



みかんを収穫してるのかな？



長崎支店 長崎愛宕店
店長 松尾 瑠美さん

4 地域貢献につながる イベントを企画・開催

夏祭りやハロウィンなど、店舗独自のイベントを企画・開催しています。従業員とお客さまだけでなく、お客さま同士のコミュニティの輪が広がり、多くの方に大変喜んでいただいています。また、近隣の中学校・高校の職場体験の受け入れや、福祉施設の商品を店頭販売しています。



子どもたちも楽しそう！

新型コロナウイルスの影響で
イベントが中止続きだったマチの子どもたち
に大変喜んでいただきました



熊本西支店 熊本砂原町店
オーナー 坂田 光智さん

通りがかりのお客さまからの
「ありがとう」が励みです

11 水路の定期清掃を実施

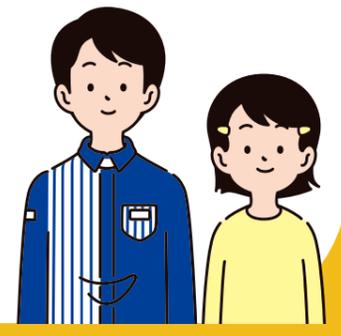
熊本は「水の国」と例えられる豊かな水源に恵まれており、マチにはさまざまな水路が巡っています。それを美しく守るお手伝いをしたく、有志による清掃活動を定期的に行っています。



圧倒的な
美味しさ

いつもの商品・サービスに あっと驚くような発見を

- 2 店舗をゼロに
- 9 食料と技術革新の
発展をつくらう
- 12 つくる責任
つなぐ責任



お客様の声を反映し、商品やサービスを改善

マチの“ほっと”ステーションとして、お客さまとのつながりを大切にするため商品やサービスの改善にお客さまの声を反映し、改善例をホームページに掲載しています。また、「食の安全・安心への取り組み」のページを新設し、商品の疑問についてもQ&A方式で掲載しています。

「お客さまの声」の内訳

店舗運営	33%
お褒め	1%
ご意見・ご要望	2%
商品・サービスお問い合わせ	64%
トータル	152,479件

もっと詳しく

環境・社会に配慮した認証商品を使用

レインフォレスト・アライアンス認証

店内淹れたてコーヒー「MACHI café」では、生産者・労働者の人権向上に取り組み、自然資源や環境に配慮した農法を採用したレインフォレスト・アライアンス認証農園産のコーヒー豆のみ*を使用しています。また、MACHI café協力農園であるブラジル・イパネマ農園では、2004年からイパネマ森林再生プロジェクトとして農園に自然保護区画を設け、生物多様性を高める活動を実施しています。

*モカブレンド、カフェインレスシリーズは対象外



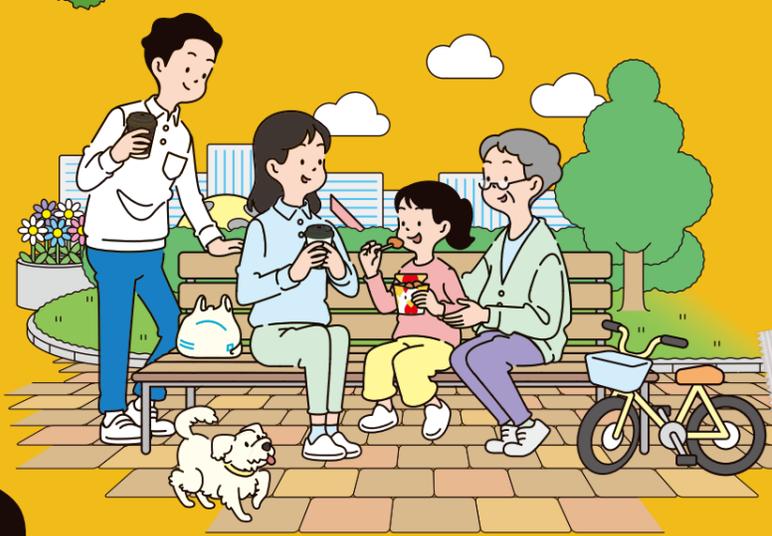
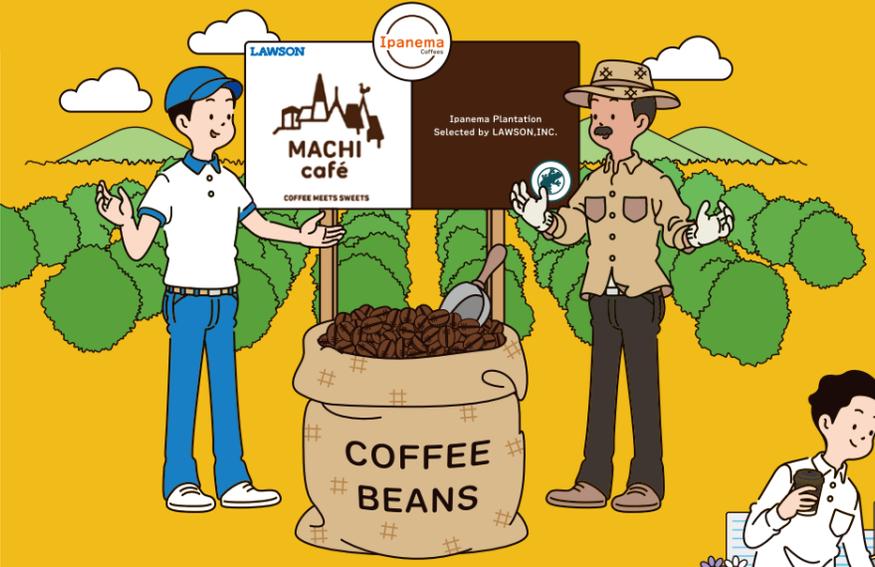
FSC® 認証、PEFC 認証

オリジナル品のペーパーカップや飲料用の紙パックなどに、適切に管理された森林から生産された木材や、再生資源、その他管理された供給源の原材料を使用した「FSC® 認証製品」や「PEFC 認証製品」を採用しています。



GAP 認証

お客さまの健康な食生活を支える野菜や果物を店舗に安定供給するため、全国16カ所で「農地所有資格法人ローソンファーム」を展開しています(2024年2月末時点)。各社で生産された農産物は、品質向上や食の安全、生物多様性をはじめとした環境保全に配慮した持続可能な農業の認証基準である「GAP 認証(JGAP, ASIAGAP)」を取得しています。

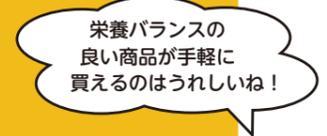


ご当地からあげクンで マチの活性化や地産地消に貢献

地元の食材を使った商品により、地産地消を進めて地域との結びつきを深めています。

からあげクン 淡路島産たまねぎ醤油味

淡路島にあるローソンファーム兵庫で生産した、甘味の強い淡路島産たまねぎのソテーを使用したからあげクンです。



「健康10テーマ」に沿った 健康配慮商品を展開

商品の開発・販売にあたり、たんぱく質や食物繊維などの栄養成分を摂取できる商品や、糖質や塩分のコントロールにつながる商品など、自社独自の基準として10のテーマに基づき、お客さまの健康意識に配慮しながら、「よりおいしいもの」を目指し、商品の開発に取り組んでいます。

健康10テーマ

- 1 野菜や果物を摂りたい
- 2 たんぱく質を摂りたい
- 3 食物繊維を摂りたい
- 4 保健機能食品等を摂りたい
- 5 糖質コントロール
- 6 塩分コントロール
- 7 カロリーコントロール
- 8 脂質を上手に摂りたい
- 9 善玉菌を摂りたい
- 10 質の高い睡眠をとろう



「青森フェア」開催で日本中を元気に!

「王林応援!青森フェア」として、青森県出身で、ローソンのCM 出演タレントの王林さんによる監修商品や、陸奥湾産ほたてなどの青森県産食材を使用した商品を、東北地区のローソン店舗で8品、全国のローソン店舗で1品販売しました。今後も、日本各地に広がるローソン店舗のネットワークの力で、日本中のマチを元気にしていきます。

初めて商品開発をする機会をいただき、青森、そして東北を盛り上げたいという想いで、パッケージから中身まで、正々堂々と率直な意見交換をしました。これを機に、青森のものがおいしいことが皆さんに伝わっていると嬉しいです。今後、ますます日本の農業や水産業が発展することを願っています。



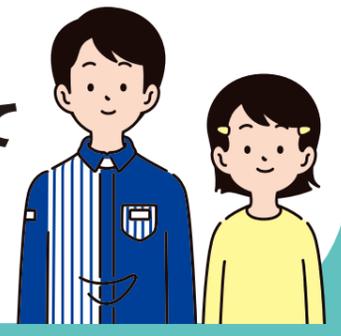
王林さん監修
「ふわもちコッペリんご&カスタード
青森県産ふじりんご」

タレント 王林さん

人への優しさ

お客さまも、働いている人も うれしくなる場所を目指して

- 1 健康をなごそう
- 2 自然をせらび
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を實現しよう
- 8 働きがいも経済成長も
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう



多様な人財が活躍する職場環境や体制づくり

多様な人財が活躍する職場環境や体制づくりの一環で、LGBTQ施策を導入しています。このたびその取り組みが評価され、職場でのLGBTQに関する取り組み指標である「PRIDE指標2023*」において「ゴールド」を受賞しました。2023年5月からは、社員の同性パートナーが家族として社宅に入居できるようにする住居制度の変更と、LGBTQ相談窓口の設置、LGBTQに関する理解促進のためのセミナーを開始しました。また、9月からは、配偶者として同性パートナーを各種人事制度・福利厚生の対象とするよう範囲を拡大しました。LGBTQについての理解促進のため、社内コミュニティも開設しています。



*「一般社団法人work with Pride」が2016年に策定した、日本初の職場におけるLGBTQ+などのセクシュアル・マイノリティへの取り組みの評価指標



「トイレ」を考える機会を提供

ローソンは、1997年に日本のコンビニエンスストアチェーンで初めてトイレを開放しました。2022年からは「トイレの日(11月10日)」及び「世界トイレデー(11月19日)」に合わせて数店舗でアートトイレを展開し、トイレについて考える機会を創っています。また、武田薬品工業(株)と共同で、2023年から「世界IBDデー(5月19日)」に合わせて啓発を行っています。患者さんはトイレと食事に悩む方が多く、2023年はトイレの啓発を全国のPOSレジディスプレイ画面に表示し、2024年はIBD患者さんのためのレシピ募集を実施しました。

* IBD (Inflammatory Bowel Disease): 腸を中心とする消化管粘膜に炎症が生じる疾患



公券により決定したアートトイレ(2023年11月~)



「指差しシート」が「2023年度グッドデザイン賞」を受賞

今回「グッドデザイン賞」を受賞した「指差しシート」は、レジ袋やカトラリー、レンジでの温めの有無を指差しで確認できるシートです。コロナ禍でのマスク着用のため店員とのコミュニケーションに不便を感じていた聴覚障がいのある社員の意見を参考に、お買い物時のコミュニケーションのサポートとして作成しました。2022年8月から日本のコンビニエンスストアチェーンとして初めて全国の店舗レジカウンターに貼付しています。

コロナ禍でのマスクにより、店員さんの口の動きで会話を読み取れなくなり困っていることを上司に伝えたことが機となり、社内で意見交換をする機会をもらいました。掲載する項目や見やすさなど、みんなで考えたこだわりのデザインです。今回の取り組みを通じ、耳が聞こえにくいことを私自身が相手に伝える際に自信がもてるようになりました。外国人のお客さま・高齢者の方、クルーさんも利用されているという声が届き、とてもうれしく思っています。

株式会社ローソン
管理本部 東北KC*
*KCは管理センター
佐々木 啓子さん

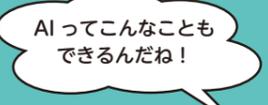


働く人にもやさしい取り組みを実施

クルーの皆さんに「楽しい・お得・役立つ」情報をお届けするため、クルー向けアプリ「Lawson Channel(ろーちゃん)」を配信しています。ローソンに関する最新ニュースから、全国のローソンで働くクルー同士が積極的にコミュニケーションを取ることができる投稿コンテンツまで情報が充実しており、給与明細をチェックできる便利な機能も備えています。また、外国籍のクルーのため、「ろーちゃん」に多言語(現在9カ国語対応)のローソン用語集「Lawsonary」を掲載しました。店舗でよく使う用語を気軽に調べることができるようにし、従業員間の円滑なコミュニケーションを促進しています。



「Lawsonary」画面



次世代発注システム「AI.CO」を全国展開

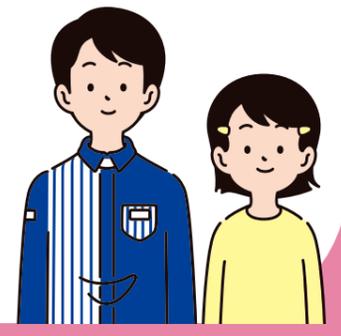
食品ロス削減の取り組みの一つとして2024年5月に、天候・販売実績などの店舗ごとのデータをもとにした商品別の需要予測と、それに基づいた商品発注をサポートする次世代発注システム「AI.CO」の全国展開を開始しました。従来のセミオート発注で実現していた品揃え、日々の発注数の推奨に加え、値引きについても一貫して推奨することで、さらなる販売機会ロスと食品ロス(廃棄ロス)の削減につなげていきます。また、店舗で働くクルーさんの業務負担の軽減や店舗運営の効率化にも寄与します。

* AI Customized Order :AI.CO



地球(マチ)への優しさ

地球(マチ)と共生する新時代のお店づくりを



オリジナル飲料のペットボトルを100%リサイクル素材に変更

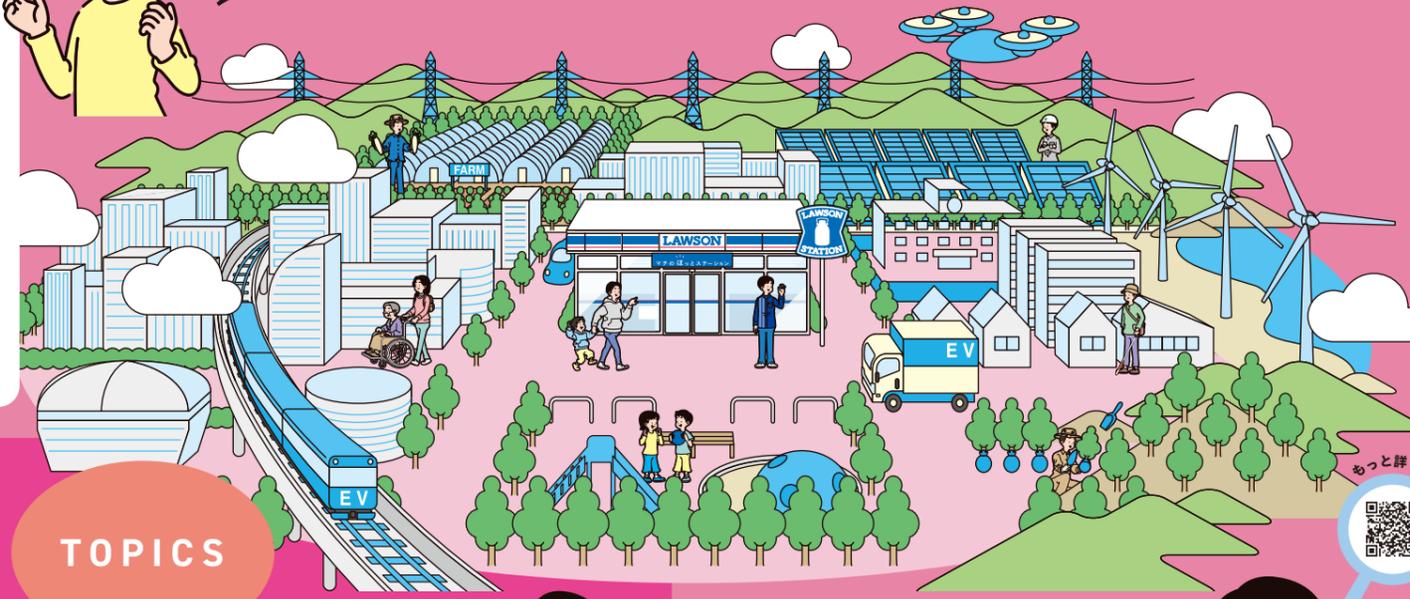
2022年に、オリジナルペットボトル飲料6品のラベルを、ペットボトル全体に覆うように貼付していたものからハーフラベルに変更し、年間約100トンのプラスチック使用量の削減を実現しました。さらに2023年11月から順次オリジナルペットボトル飲料の計8品のペットボトルを100%リサイクル素材に切り替えました。これにより、年間で約3,355トンのプラスチック使用量削減が見込めます。



私もきちんと分別して捨てるようにしているよ！



地球に優しい仕組みを取り入れているんだね！



TOPICS

自治体と提携してマチづくりに参加

2024年5月22日に、ローソンの本社がある品川区と包括連携協定を締結しました。ローソンが地方自治体と包括連携協定を結ぶのは品川区で68自治体目です(2024年5月末時点)。この協定は、ローソンと品川区が互いにもつリソースを活かし、品川区内のローソン店舗へのAEDの設置連携や学生の皆さんへの育成支援などによる地域の一層の活性化と、区民の皆さまが安心して暮らせるマチづくりを目指すものです。

地球(マチ)のなかで、地球(マチ)のために。身近な地域から世界各地の取り組みまで幅広い活動を紹介します。



募金活動で子どもたちの未来を応援

「子どもたちの未来のために」をコンセプトに社会貢献活動を行い、「ローソングループ“マチの幸せ”募金」では、現在2つの団体への寄付と活動の支援をしています。

- 2023年度募金総額 **7億1,601万1,060円**
- うち「ローソングループ“マチの幸せ”募金」 **2億2,661万7,537円**



災害募金や被災地支援を実施

- 2023年度に実施した災害募金
 - ・ウクライナ人道危機支援募金
 - ・令和5年台風2号災害支援募金
 - ・令和5年7月豪雨災害支援募金
 - ・ハワイ・マウイ島山火災害支援募金
 - ・モロッコ地震災害支援募金
 - ・アフガニスタン地震災害支援募金
 - ・令和6年能登半島地震災害支援募金

2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震の被災者支援のため、中部カンパニーの全12拠点でフードドライブを行い、集まった食料品・飲料については、認定NPO法人いしかわフードバンク・ネット(石川県金沢市)に寄贈。同フードバンクを通じて、令和6年能登半島地震で被災された方々や、支援を必要とする子ども食堂へ提供されるなどし、マチ(地域社会)に対する支援活動に活用されています。



省エネへの取り組み

店舗全体の無駄な電気使用量を削減するため、「省エネ10か条」を定め、要冷機器・空調機器のフィルター清掃や、エアコンの設定温度の遵守等に取り組んでいます。また、約6,800店舗にフロン類と比較して温室効果ガス排出量を大幅に減少できる「ノンフロン(CO₂冷媒)冷凍・冷蔵システム」を設置しています。さらに約3,000店舗に太陽光発電設備を設置。これらの取り組みにより2030年度(店舗当たりのCO₂排出量2013年対比50%削減)の目標達成を目指しています。



北海道で木材を使用した店舗をオープン

2024年4月25日、北海道厚真町に「ローソン上厚真店」をオープンしました。店舗外装の一部に北海道産木材を使用しています。北海道産木材を使用した店舗は14店舗目となります。今回出店した上厚真地区にはスーパーマーケットがなく、最寄りのコンビニエンスストアは約10km離れています。また、同地区では60歳以上の人口比率が4割を超えており、住民の皆さんが買い物に著しく不自由さを感じられていることがマチ(地域)の課題でした。



同店には、併設してコインランドリーや交流スペースがあり、地域の活性化につなげていきます。



「MACHI café」のコーヒー上蓋を変更

淹れたてコーヒー「MACHI café」のアイスドリンクSサイズとMサイズのプラスチック製の上蓋を、これまでよりプラスチック使用量を約0.4g削減したものに変更しました。これにより年間で約48トンのプラスチック使用量の削減を見込んでいます。これまでもアイスメニューのカップを2019年から順次紙製に変更し、さらにストローなしで飲む蓋に変更することで、累計約3,220トンのプラスチック使用量を削減しています。



毎日飲むコーヒーが環境にやさしい容器になったのはうれしいな！



“冷凍技術”を活用した食品ロス削減の取り組み

販売許容時間*の過ぎた「からあげクン」などのフライドフーズ(FF)を、支援を必要とする子ども食堂等へ寄贈する取り組みを都内一部店舗で行っています。食品ロスの削減と食品の有効活用を目的に、「まだ食べられる商品」を店舗で急速冷凍し消費期限までの「時を止め」、子ども食堂等で加熱・再調理の上、さまざまなメニューに生まれ変わらせて提供しています。



子ども食堂での食事の提供

再調理されたからあげクン群豚風

取り組みに関する動画はこちら▶



ローソングループ各社でSDGsに取り組んでいます

ローソングループ丸となり、「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」というグループ理念のもと、社会やマチのためになるチャレンジを続けています。



ローソングループ HP はこちらからご覧ください。

<https://www.lawson.co.jp/company/gr/>



ローソンエンタテインメント

『シナぷしゅ THE MOVIE』が優秀賞を受賞

2023年9月、ローソンエンタテインメント配給の『シナぷしゅ THE MOVIE ぷしゅほっぺにゅうワールド』(2023年5月公開)が、日経グループ サステナビリティ・コンテストで優秀賞を受賞しました。本作品は全国150を超える映画館で上映され、多様な価値観に基づく乳幼児教育の充実、親子で外出を楽しむ機会の提供といったSDGs目標4と5への貢献のみならず、1ヵ月で15万人以上を動員し興行収入をあげた点が評価されました。



ローソン銀行

新型ATM導入

新券への対応やカラーユニバーサルデザイン認証を取得したATMの新型機を開発しました。車いすをご利用のお客さまにもアクセスしやすい設計やタッチパネルのレイアウト、力の弱い方でも使いやすい杖置きやドリンクホルダーの素材・構造の工夫など「誰でも便利に」使っていただけるデザインを目指しました。2024年1月から順次全国へ導入しています。



羅森中国

AIカメラで売場を可視化し商品を管理

中国瀋陽市でAIカメラを活用して売場を24時間可視化し、売場で欠品発生時にリアルタイムでAIが商品補充の指示・補充の完了確認を行う実験を先行実施しています。商品の補充や陳列の徹底に加え値引き販売を組み合わせることで、売上の向上及び食品ロス削減に効果が出ています。これを踏まえ、今後他のエリアに拡大する予定です。



ローソンストア 100

新制服を導入し、「機能性」と「働きやすさ」を向上

2023年8月から新制服の着用を開始しました。社内アンケートによる従業員の声を反映し、夏場の働きやすさを重視した半袖制服を新たに導入。後ろポケットを深くし、数を増やすなど機能性も向上しました。また、デザインも刷新しコーポレートカラーであるグリーンに加え、新たに誠実さを表現するネイビーを配色しています。



成城石井

災害復興・食育支援基金の取り組み

子どもたちの災害からの復興や食育を支援するため、「食を楽しむ心を育む」をテーマとした社会貢献活動を推進。対象商品の収益の一部を活動資金として、対象地域の子どもの食やスポーツを融合した交流イベントの開催や、ご家族で召し上がっていただける食事を提供しています。



Lawson Philippines

毎週水曜日はマイバッグ持参を推奨

フィリピンではプラスチック製のレジ袋の配布が禁止されているため、商品を入れる紙袋を配布しています。さらに紙袋を削減するため、2023年5月から、毎週水曜日は紙袋を配布せず、マイバッグの持参を推奨するキャンペーンを実施。開始前と比べて35%の紙袋の削減につながっています。

